

らくらく読楽書 第16号

平成24年7月発行

精華町立図書館

所在地：〒619-0285 京都府相楽郡精華町大字南福八妻小字北尻70番地
電話：0774-95-1911 FAX：0774-95-3976
HP：<http://library.town.seika.kyoto.jp>

おすすめの本

『ニッポンのサイズ 身体ではかる尺貫法』

石川英輔 淡交社／609

人さし指から小指を揃え、親指をいっぱい広げたときの形を元にした「尺」、人が1年に消費する米の量を元にした「石」、重さの単位「匁」など、今では馴染みの薄い日本の昔ながらの単位。これらは日本人の体格や生活習慣などに合わせてできあがった、日本人にとっては使い易いものだったのです。「1尺は30.303センチメートル」というように単位を置き換える度量衡換算表もあり、また図版から昔の人々の暮らしがよくわかります。

『ラジオ体操でみんな元気！ 全3巻』

青山敏彦 汐文社／781（児童書）

「♪あた～らしいあさがきた～…♪」で始まるラジオ体操の歌。
夏休みになると子どもたちが広場に集まって、ラジオ体操がはじまります。この本ではラジオ体操の動きを紹介するとともに、それら一つひとつが体のどこにどのような効くのか、またラジオ体操が始まった歴史なども知ることができます。

『発見・体験！地球儀の魅力 全3巻』

稲葉茂勝 少年写真新聞社／448（児童書）

みなさん、地球儀をじっくり見たことがありますか？

丸い地球儀を見ると世界は一つに繋がっていることがよくわかります。世界のいろんなニュースを聞くたびに、その国がどこにあるのか調べることもできます。

地球儀の歴史や使い方、また作り方の工夫など、この本には地球儀の秘密がぎっしり詰まっています。さあ、みなさんも地球儀の世界を体験してみませんか？